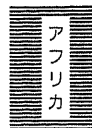


調査団派遣実績

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信放送	農業	畜産	水産	鉱業		工業	商業貿易	観光	人的資源				
27~63年度	8			5	2											1			61,438	
63年度																			2,191	

青年海外協力隊派遣実績

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信放送	農業	畜産	水産	鉱業		工業	商業貿易	観光	人的資源				
27~63年度																			1,465	
63年度																				



||||| 公共・公益事業分野 |||||

無償資金協力事業

実施促進・フォローアップ調査

プロジェクト名	調査区分	供与年度
都市環境改善計画	契約促進	62

||||| 農林水産分野 |||||

無償資金協力事業

実施促進・フォローアップ調査

プロジェクト名	調査区分	供与年度
食糧増産援助	契約促進	62

調査団派遣実績

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信放送	農業	畜産	林業	水産		鉱業	工業	商業貿易	観光					観
年度																					
27~63年度	36					16					13					7					144,719
63年度																					13,441

||||| 公共・公益事業分野 |||||

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
放送用機材 (当年度分)	一式	6,297	情報省	小規模単独機材	

無償資金協力事業

無償資金協力案件 (JICA 担当分)

プロジェクト名	金 額 (億円)	E/N 署名日	JICA 実 施 業 務		
			基本設計	実施促進	仕様書
道路整備計画	3.29	63.10.28	○	○	○

実施促進・フォローアップ調査

プロジェクト名	調査区分	供与年度
道路整備計画	契約促進	63



||||| 農林水産分野 |||||

無償資金協力事業

無償資金協力案件 (JICA 担当分)

プロジェクト名	金 額 (億円)	E/N 署名日	JICA 実 施 業 務		
			基本設計	実施促進	仕様書
食糧増産援助	4.00		○		

■ ギャール

研修員受入実績

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産		鉱業	工業	商業・貿易	観光				
27~63年度	188	2	1	5	67	23	3	2	3	8	34	15	2		15		6	1	1	521,714
63年度	21		1	1	4	1		1		3	2				6		2			
	4																4			90,583
	25		1	1	4	1		1		3	2				6		6			

(注) 63年度人数欄の上段は新規分、中段は継続分、下段は新規分と継続分の合計。以下同じ。

専門家派遣実績

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産		鉱業	工業	商業・貿易	観光				
27	41			3	8											24	6			
63年度	32		1	23							1				3	4				
分限 不能	72			18	39	5					4	1			4					1
合計	145			4	49	39	5				5	1			7	28	6			3,144,418
	9		1													8				
短期	9		1													8				
	7		1	2																
63年度	7		1	2																
	7		1	2																
長期	7		1	2																
	16		2	2																
合計	16		2	2																

調査団派遣実績

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産		鉱業	工業	商業・貿易	観光				
27~63年度	233			34	133	46	11	3									6			1,286,583
63年度	20			10	7			3												64,439
	20			10	7			3												



||||| 公共・公益事業分野 |||||

開発調査事業

プロジェクト名	予調査 算内容 区分 分類	概 要	相手国の調 査団受入先	調 査 業 務 受注企業名
キンシャサ市東西 幹線道路建設計画	開 3 4	キンシャサ市内の13kmの東西幹線道路及びそれに対するアクセス道路の建設・補修計画にかかるフィージビリティ調査を行うもので、昭和63年度は事前調査を実施し、実施細則を締結するとともに、本格調査を開始した。	都市整備調査 局	三井共同建設 コンサルタン ト(株)

無償資金協力事業

無償資金協力案件 (JICA 担当分)

プロジェクト名	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA 実施業務		
			基本設計	実施促進	仕様書
キンペセ飲料水給水計画 (第II期)	5.42	63. 8. 20	○%		
バ・ザイール州地下水開発計画 (第I期)	5.12	63. 8. 20	○%		

基本設計調査

プロジェクト名	概 要	相 手 国 実 施 機 関	調 査 業 務 受注企業名
ボマ市飲料水供給計画	施設の老朽化により、人口の急増に伴う給水需要に対応が困難な状況にあるボマ市の既存飲料水供給システムの改修・拡張を図る。	水道公社	(株)東京設計事 務所

||||| 農林水産分野 |||||

無償資金協力事業

無償資金協力案件 (JICA 担当分)

プロジェクト名	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA 実施業務		
			基本設計	実施促進	仕様書
食糧増産援助	7.00	63.12.21	○		
中部シャバ州農業開発計画	7.75		○		

実施促進・フォローアップ調査

プロジェクト名	調査区分	供与年度
食糧増産援助	契約促進	62

||||| 人的資源分野 |||||

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
語学教育用機材 (緑越分)	一式	16,850	高等教育省国立商業 高等学園	一般単独機材	専門家派遣 研修員受入



調査団派遣実績

分野 年度	計画・行政		公共・公益事業		農林・水産		鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
	計画	行政	公益事業	通信・放送	農業	畜産	林業	水産		鉱業	工業	商業・貿易	観光				
27~63年度	2		13	36	6	22	70	28	54	41	22		55	44	4	1,925,396	
63年度			3	5	6	1	14	4				15	5	3		337,474	
			3	5	6	1	19	4				15	5	3			
			3	5	6	1	19	4				15	5	3			

青年海外協力隊派遣実績

分野 年度	計画・行政		公共・公益事業		農林・水産		鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
	計画	行政	公益事業	通信・放送	農業	畜産	林業	水産		鉱業	工業	商業・貿易	観光				
27~63年度	4	10	7	11	22	82	25	52	7	15	1	49	41	10	16	2,986,980	
63年度			2	3	8	3	8	10	2	2		18	16	3	1	417,363	
			4	3	9	3	9	18	2	3		19	19	4	1		
			4	3	9	3	9	18	2	3		19	19	4	1		



公共・公益事業分野

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供 与 形 態	関 連 事 業
下水道浄掃用機材 (当年度分)	一式	9,460	キトウェ市役所	小規模単独機材	青年海外協力隊
揚水設備機材 (当年度分)	一式	1,450	内務省	小規模単独機材	青年海外協力隊

開発調査事業

プロジェクト名	予調査 算内容 区分 分類	概 要	相手国の調 査団受入先	調 査 業 務 受注企業名
カフェ川道路橋梁 改築計画	開 3	ルサカ市南方約50kmの国際幹線道路上に位置するカフェ川道路橋の現橋(橋長約130m)の改築計画にかかるフィージビリティ調査を行うもので、昭和63年度は事前調査を実施し、実施細則を締結した。	電力・運輸通信省	
主要河川水資源開発計画	開 3	ザンビアの主要河川流域(ザンベジ川、カフェ川)における水文観測体制を整備し、将来の水資源計画に資するため、基礎的な水文データを収集整備解析する長期調査を実施するものであり、昭和63年度は事前調査を行い、実施細則を締結した。	農業水資源省	

無償資金協力事業

無償資金協力案件 (JICA 担当分)

プロジェクト名	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA 実 施 業 務		
			基本設計	実施促進	仕様書
南部地下水開発計画	5.41	63.10.31	○%		
道路整備計画	7.17	63.10.31	○	○	

実施促進・フォローアップ調査

プロジェクト名	調 査 区 分	供 与 年 度
道路整備計画	契約促進	63
道路整備計画	フォローアップ調査	62

農林水産分野

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 (事業別・期間)	各種チームの派遣		専門家派遣			機材供与 (除携行機材)		カウンターパート 受入	
	年度	形態	62年度 まで 累計	63年度		年度	金額 (千円)	年度	人数
				継続	新規				
ザンビア大学獣医学部技術協力計画 (獣医教育) 〔農林水産業協力事業〕 (当初 R/D 協力期間) 60.1.22～2.1.21	59	事前調査	26	8	11	60	75,410	60～62	4
	59	実施協議							
	60	計画打合せ							
	61	巡回指導							
	62	巡回指導							
	63	巡回指導							
61	巡回指導	62	137,872	63	2				
62	巡回指導	63	3,578						

ザンビアは約200万頭の牛を保有する牧畜国であるが、家畜疾病等のため生産性が低く、畜産物を輸入している現状である。かつ獣医師の数が極端に少なく、家畜衛生対策が遅れている。ザンビア政府はこの状況を打開するため、ザンビア大学に獣医学部を新設し獣医師の養成を図ることとした。わが国の無償資金協力により、獣医学部の施設及び学生宿舍等が供与された。

本技術協力プロジェクトは、国際水準に合致した獣医教育を実施し、ザンビア人獣医師を養成することを目的に、主として基礎獣医学及び家畜疾病予防学の2講座を中心に、教育・研究及び普及の面で展開されている。昭和63年11月には初の卒業生13人を輩出した。ザンビア大学内では、獣医学部のカリキュラム、指導体制及び施設・機材の充実度が高く評価されている。



開発調査事業

プロジェクト名	予調査 算内容 区分 分類	概要	相手国の調査 団受入先	調査業務 受注企業名
農業実証調査	開 1	ザンビアにおける農業実証調査を実施するもので、西部州モング地区のザンベジ川氾濫原及び丘陵部ダンボにおいて稲作適正技術検討及び栽培・土壌、かんがい排水等の分野におけるデータ蓄積を行う。 昭和63年度は実証圃場の整備及び稲作を中心とする栽培、水管理試験を実施した。	農業水資源省	太陽コンサルタンツ(株) 国際航業(株)

無償資金協力事業

無償資金協力案件 (JICA 担当分)

プロジェクト名	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA 実施業務		
			基本設計	実施促進	仕様書
穀物倉庫建設計画	8.60	63.10.31	○%		
食糧増産援助	12.07	63.12.23	○		

||||| 人的資源分野 |||||

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供 与 形 態	関 連 事 業
家庭燃料開発研究用機材 (当年度分)	一式	3,125	高等教育省国立科学 技術研究院	一般単独機材	専門家派遣 研修員受入 青年海外協力隊

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 (事業別・期間)	各種チームの派遣		専 門 家 派 遣			機 材 供 与 (除携行機材)		カウンタート 受 入	
	年度	形 態	62年 度まで 累計	63 年 度		年度	金 額 (千円)	年 度	人 数
				継 続	新 規				
職業訓練拡充計画 〔技術協力センター事業〕 (当初 R/D 協力期間) 62.10.1～4.9.30	61 61 62 62 63	基礎調査 事前調査 実施協議 計画打合せ 巡回指導	8	6	6	63	17,840	62 63	2 2

昭和61年6月に南部アフリカ諸国への技術協力実施の可能性を調査する目的でザンビアを訪問した基礎調査団に対し、ザンビア政府関係者より、技術教育・職業訓練局傘下にある技術・職業訓練校（6カ所）を対象として、下記職業訓練プログラムの向上に資するための技術協力を実施してほしい旨、要請してきた。

- ①ラジオ・テレビ修理 ②自動車整備 ③自動車電装 ④冷凍・空調 ⑤工業電子 ⑥視聴覚教育

これを受けて、昭和61年9月に事前調査団及び長期調査員チームを現地に派遣し、所要の調査を行った。

昭和62年5月実施協議チームが派遣され、R/Dが署名された。昭和62年10月、調整員及び冷凍空調の専門家派遣によって5年間（一部3年間）の協力が開始された。次いで同年12月に工業電子専門家、昭和63年2月にリーダー、4月に視聴覚教材開発専門家を派遣した。

ザンビア側の努力により昭和63年11月にはすべての改修工事が終了し、新設コースを含めすべての訓練コースがスタートした。なお一層の充実を図るべく平成元年4月に自動車及び工業電子専門家をそれぞれ1人派遣した。

無償資金協力事業
基本設計調査

プロジェクト名	概 要	相 手 国 実 施 機 関	調 査 業 務 受 注 企 業 名
中学校建設計画	第3次国家開発計画中の教育制度改革の一環として、全国に16の中学校の建設を計画しているが、そのうちの1～2校について協力をを行う。	一般教育・文化省	(株)横河建築設計事務所

||||| 保健医療分野 |||||

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 (事業別・期間)	各種チームの派遣		専門家派遣			機材供与 (除携行機材)		カウンターパート 受入	
	年度	形態	62年 度まで 累計	63年度		年度	金額 (千円)	年度	人数
				継続	新規				
ザンビア大学医学部 (小児科と新生児管理) 〔保健医療協力事業〕 (当初 R/D 協力期間) 55. 2. 21~60. 2. 20 (延長 R/D 協力期間) 60. 2. 21~62. 2. 20 (フォローアップ協力期間) 62. 2. 21~1. 2. 20	54	事前調査							
	54	実施協議							
	56	計画打合せ				55	71,853		
	59	エバリュエーション				57	63,076		
	60	機材修理	40	2	8	59	54,571	55~62	24
	61	エバリュエーション				60	57,971	63	2
	62	機材修理				62	36,073		
						63	28,449		

ザンビア政府は、医療従事者の養成が急務であることに鑑み、ザンビア大学医学部に対する協力をわが国に要請してきた。わが国はこれを受けて、昭和54年事前調査チームを派遣し、協力の可能性を調査した。その後昭和55年2月実施協議チームを派遣し、R/Dの署名を経て協力を開始した。

協力内容は、ルサカ市の大学教育病院において、医学部教官に対し、①新生児管理、②小児科等の教育技術の移転を行うものである。



研修員受入実績

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業		農林・水産		鉱工業		エネルギー		商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業	商業・貿易	観光				
27~63年度	50	1	4		5	2	19	1		8	1					7	2		107,572
63年度	13				2	1	7				1					1	1		29,280
	13				2	1	7			1						1	1		

(注) 63年度人数欄の上段は新規分、中段は継続分、下段は新規分と継続分の合計。以下同じ。

専門家派遣実績

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業		農林・水産		鉱工業		エネルギー		商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業	商業・貿易	観光				
短期	1																		
27~63年度	2						2												39,545
長期	3						2										1		
合計																			
短期																			
63年度	1																		11,679
長期	1																		
合計																			
	1																		

調査団派遣実績

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産		鉱業	工業	商業・貿易	観光				
27~63年度	168	5		30	6	2	18	42		3	38	20			4					1,128,881
63年度	36			3			10				7	16								237,078
	36			3				10			7	16								



||||| 公共・公益事業分野 |||||

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供 与 形 態	関 連 事 業
衛星通信機材 (当年度分)	一式	42,130	郵便電気通信公社	一般単独機材	専門家派遣 研修員受入

無償資金協力事業

無償資金協力案件 (JICA 担当分)

プロジェクト名	金 額 (億円)	E/N 署 名 日	JICA 実 施 業 務		
			基本設計	実施促進	仕 様 書
地方給水施設整備計画 (第II期)	5.24	63.11.23	○%		
地方道路開発用建設機材供給計画	9.25		○		

基本設計調査

プロジェクト名	概 要	相 手 国 実 施 機 関	調 査 業 務 受 注 企 業 名
地方給水施設整備計画	村落共有地における生活用水の安定供給と衛生状態を改善する目的のもと、井戸掘削とそれにかかる機材の供与を行う。	エネルギー・水資源開発省	(株)三祐コンサルタンツ

||||| 農林水産分野 |||||

開発調査事業

プロジェクト名	予調査内容区分分類	概 要	相手国の調査団受入先	調 査 業 務 受 注 企 業 名
ニャコンバ地方かんがい計画	開 3	東北部に位置するニャコンバ地方の農耕地を対象とした乾期 (冬期) のかんがいを中心とした農村総合開発計画にかかるフィージビリティ調査を実施するものであり、昭和63年度は事前調査団を派遣し、実施細則の締結を行った。	土地・農業・地方定住省	

無償資金協力事業
基本設計調査

プロジェクト名	概要	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名
マシング州中規模かんがい計画	マシング州の黒人共有区の農業生産性向上を図るために、州内6カ所の中規模かんがい用ダム及びかんがい施設を建設する。	エネルギー・水資源開発省	(株)三祐コンサルタンツ

実施促進・フォローアップ調査

プロジェクト名	調査区分	供与年度
食糧増産援助	契約促進	62

||||| 鉱工業分野 |||||

開発調査事業

プロジェクト名	予調査 内容 区分 分類	概要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
肥料工場建設計画	海 4	ジンバブエに豊富に存在する石炭を利用して肥料用アンモニアを生産する工場の建設計画であり、調査では、アンモニアと同時に尿素、メタノール、コールタールを併産する四つのケースについて比較・検討する。 昭和63年度は現地調査と国内解析作業を実施し、報告書案の現地説明と協議を行った。	工業省工業開発公社 (IDC)	(株)日本プラント協会
カドマ地域資源開発調査	資 8	カドマ地域において金・銀・銅・鉛・亜鉛・ニッケル・鉄等多種類の鉱床の賦存状況を把握することを目的とする。 昭和63年度は、ボーリング調査 (22孔, 2200 m), トレンチ調査 (40m) を実施した。	鉱山省地質調査局	



研修員受入実績

■ アンティグア

分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー		商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業	エネルギー	商業・貿易	観光	人的資源				
年度	27~63年度	2								1					1						4,687
	63年度	1							1												2,573
		1							1												

(注) 63年度人数欄の上段は新規分, 中段は継続分, 下段は新規分と継続分の合計。

研修員受入実績

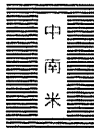
■ アルゼンティン

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)		
		開発 計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産		鉱業	工業	商業・貿易	観光					人的資源	科学・文化
27~63年度	871	26	62	5	142	20	112	62	19	7	54	38	69	53	24	10	29	12	120	5	2	1,847,657
63年度	107		17		9	6	12	10	5		7	2	10	5	2		5	4	11	2		
	17		2		1		1	2			3	2	3						3			
	124		19		10	6	13	12	5		10	4	13	5	2		5	4	14	2		237,367

(注) 63年度人数欄の上段は新規分、中段は継続分、下段は新規分と継続分の合計。以下同じ。

専門家派遣実績

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
		開発 計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産		鉱業	工業	商業・貿易	観光					人的資源
27 短期	127				26	2	7	18	4	1	25	3	5	2		6	1	27			
63 長期	52	1			15		2	16	1		10	2	1			4					
分類 不能	77				12	3		23	1		6	4				12	3	11	2		
合計	256	1			53	5	9	57	6	1	41	9	6	2	12	13	1	38	2		2,173,604
63年度	28				2			1	4		4	2	1			5		9			
	3										1		2								
	31				2			1	4		5	2	3			5		9			
63年度	11				6			2			1	1	1			1					
	19	1			6			5	1		5					1					
	30	1			12			7	1		6	1			2						
合計	39				8			3	4		5	2	2			6		9			
	22	1			6			5	1		6	2	2			1					
	61	1			14			8	5		11	2	4		7		9				454,848



分野	合計人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源	保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産		鉱業	工業					
27~63年度	616	73	8		61	35	88	9		54	125	35	96		12	17		3	3,744,898
63年度	86		5		4		14	7		9	14	12	20					1	564,465
	86		5		4		14	7		9	14	12	20					1	

移住者送実績

分野	合計人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源	保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産		鉱業	工業					
27~63年度	2,752		1				115	1		1		4		13	17			2,599	252,259
63年度	10					3									3			4	42,891
	10					3									3			4	

||||| 計画・行政分野 |||||

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 (事業別・期間)	各種チームの派遣		専門家派遣			機材供与 (除携行機材)		カウンターパート 受入	
	年度	形態	62年 度まで 累計	63年度		年度	金額 (千円)	年度	人数
				継続	新規				
日本・アルゼンティンソフト ウェア研修センター (コンピューターソフトウェ ア要員の養成) 〔産業開発協力事業〕	63	事前調査							

アルゼンティンは、牛肉、羊肉等の食料品、牛草、羊毛等の衣料品から事務機、電気機械等の機械類まで幅広く生産している中進国であるが、情報化に関してはいまだ初歩段階にある。

このためアルゼンティン政府は、今後の同国の経済発展に不可欠である情報化の促進を図るため、情報処理の実務に携わるソフトウェア技術者の養成についてわが国に協力を要請してきた。

これを受け、要請内容、実施体制の確認及び技術協力の可能性を検討するため、昭和63年7月事前調査を実施した。

||||| 公共・公益事業分野 |||||

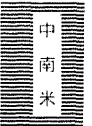
プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 (事業別・期間)	各種チームの派遣		専門家派遣			機材供与 (除携行機材)		カウンターパート 受入	
	年度	形態	62年 度まで 累計	63年度		年度	金額 (千円)	年度	人数
				継続	新規				
国鉄中央研修センター (運転保守管理要員の訓練) 〔技術協力センター事業〕 (当初 R/D 協力期間) 60.11.28～2.11.27	59	事前調査				60	3,247		
	60	実施協議				61	271,294	62まで	10
	61	計画打合せ	25	7	8	62	20,721	63	4
	62	巡回指導				63	147,922		
	63	巡回指導							

アルゼンティン国鉄は、輸送力の近代化を図るため、ブエノスアイレスから延びる幹線の交流電化計画を立て、それに伴う車両・信号・通信設備の運転保守管理要員を大量に養成するための中央研修センターを設立することとし、近代的な交流電化システムの保守運営に高い技術と経験を有するわが国に対し、同センター設立のための協力を昭和58年11月に要請してきた。これに対しわが国は、昭和59年10月に事前調査を実施し、その結果を受けて昭和60年11月に実施協議調査団を派遣して R/D に署名、5年間のプロジェクト方式技術協力が開始された。

本プロジェクトは、アルゼンティン国鉄ロカ線の交流電化に伴い必要となる運転保守管理要員を養成するために、次の7分野の研修コースを開設・運営している。

- ①運転 ②車両(電気) ③車両(機械) ④変配電 ⑤電車線 ⑥信号 ⑦通信



農林水産分野

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
稲作研究用機材(当年度分)	一式	8,853	農牧水産庁国立農牧技術研究所	一般単独機材	専門家派遣 研修員受入

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 (事業別・期間)	各種チームの派遣		専門家派遣			機材供与 (除携行機材)		カウンターパート 受入	
	年度	形態	62年度 まで 累計	63年度		年度	金額 (千円)	年度	人数
				継続	新規				
国立漁業学校 (漁船乗組員の人材養成及び 技術向上) 〔農林水産業協力事業〕 (当初 R/D 協力期間) 59.4.1～1.3.31	56	事前調査							
	57	実施協議				59	67,514		
	58	計画打合せ				60	50,896		
	59	計画打合せ	24	5	4	61	47,345	58～62	16
	61	巡回指導				62	21,840	63	4
	61	巡回指導				63	36,627		
	62	巡回指導							
	63	エバリュエーション							

アルゼンティンの周囲、特にパタゴニア海域には豊富な漁業資源があるが、いまだ多くの漁業資源が有効に利用されていないことから、アルゼンティン政府は、未利用資源の開発、国内消費の拡大、及び水産加工品の輸出促進に努めている。このため、アルゼンティン政府は漁業従事者等の人材養成及びその質的向上を図る目的をもってわが国に対し国立漁業学校の設立及び技術協力を要請してきた。

昭和59年4月より、マルデルプラタ市の連邦漁業第一学校を発展的に解消した国立漁業学校において漁業教育内容の改善を行うことにより、アルゼンティンにおける海洋漁業の発展に寄与することを目的に協力を開始し、平成元年3月31日に5年間に及んだ協力を終了した。エバリュエーション調査では協力分野における技術移転目標は達成されたと評価された。

ラプラタ大学獣医学部研究計画 〔農林水産業協力事業〕 (当初 R/D 協力期間) 1.3.1～6.2.28	59	コンタクト調査							
	63	事前調査	0	0	4	63	11,719	63	1
	63	実施協議							

アルゼンティンの牧畜業の発展に資するため、家畜衛生分野の研究活動の強化を図ることを目的として、同国における獣医学教育で最も歴史のあるラプラタ大学獣医学部において協力活動が実施される。活動内容は、「家畜における微生物(細菌、ウイルス、真菌、原虫)感染症の診断のための病理学的、免疫学的研究活動」を統一テーマとして、①形態学的基礎研究、②実験動物を活用した形態と機能に関する基礎研究、③感染症の宿主形態の生理、生化学的研究、④応用領域へのアプローチを目指した総合的研究としている。

昭和63年度は、協力内容の絞り込みとアルゼンティン側の実施体制、協力枠組みの明確化のため事前調査団を派遣し、続いて協力の基本計画、運営管理体制等についての協議のため長期調査員を派遣した。さらに、両調査をもとに実施協議調査団が派遣され、R/Dの署名交換を行い、平成元年3月1日から協力が開始された。

開発調査事業

プロジェクト名	予調査内容区分分類	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ヤシレタダム隣接地域農業総合開発計画	開 1	ヤシレタダムの水源を利用し、ダムに隣接したコリエンテス州内約40万 ha を対象に、かんがい開発を主体とした農業開発の促進を目的とし、農業基盤整備、営農改善、牧畜振興、農業支援活動及び農村社会基盤整備等の各種農業関連計画を総合的に検討し、当該地域の農業開発の基本方針となるマスタープランを策定するものであり、昭和63年度は第3次現地調査及び国内解析作業を行い、最終報告書の提出を行った。	コリエンテス州政府	国際航業(株) 農用地開発公団

無償資金協力事業

無償資金協力案件 (JICA 担当分)

プロジェクト名	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA 実施業務		
			基本設計	実施促進	仕様書
プエルト・デセアード漁港拡張計画 (第II期)	9.72	63.11.2	〇%		

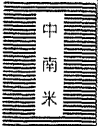
開発協力事業

投融資審査等調査

プロジェクト名	調査期間	人数	内容
梅栽培試験事業投融資審査等調査	63.12.12~63.12.23	3	アルゼンティンにおける梅栽培試験事業にかかる融資中調査

研修員受入

研修コース名 (または研修科目名)	派遣期間	人数	関連プロジェクト名
梅栽培加工	63.6.17~63.7.26	2	アルゼンティン梅栽培試験事業



||||| 鉱工業分野 |||||

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 (事業別・期間)	各種チームの派遣		専 門 家 派 遣			機 材 供 与 (除携行機材)		カウ ン ター パー ト 受 入	
	年 度	形 態	62年 度まで 累計	63 年 度		年 度	金 額 (千円)	年 度	人 数
				継 続	新 規				
包装技術プログラム (商品包装技術向上のための 人材養成) 〔産業開発協力事業〕 (当初 R/D 協力期間) 1.3.31～5.3.30	62 63	事前調査 実施協議	0	0	4			63	1

本プロジェクトはアルゼンティン国内における商品包装、輸出包装技術の向上を目指し、アルゼンティン国内関係各研究所から選出された研究員・技術員の養成を目的としている。昭和63年度はプロジェクトの詳細を設計するために4人の長期調査員が派遣され、3月にはR/Dを締結し、プロジェクトを開始した。

開発調査事業

プロジェクト名	予調査 内容 区分 分類	概 要	相手国の調 査団受入先	調 査 業 務 受 注 企 業 名
品質管理評価改善 計画	海 3	民間企業の品質管理の現状を調査し、将来の統 一的品質管理実施のためのガイドラインを策定す る。 昭和63年度は、要請の背景と内容を確認する予 備調査を実施したうえで、事前調査を行い、実施 細則に署名・合意した。	工業貿易庁中 小企業局	テクノ・コン サルタンツ(株)
アルトデラブレ ンダ地域資源開発調 査	資 8	アルトデラブレング地域において金・銀等の鉱 床の賦存状況を把握することを目的とする。 昭和63年度は、ボーリング調査(6孔、1460 m)、坑道調査(385m)を実施した。	経済省 鉱山庁	

||||| エネルギー分野 |||||

開発調査事業

プロジェクト名	予調査内容区分分類	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
工場省エネルギー計画	海1	<p>アルゼンティンは、石油の自給率は99%と高く、水力資源も豊富であるように、エネルギー資源には恵まれているが、反面、工業分野の設備は旧式のものが多く、エネルギー使用効率の低いものがほとんどである。</p> <p>本件は、工業分野、特に中小企業における工場のエネルギー使用の概況及びその省エネルギーの可能性を調査することを目的とする。</p> <p>昭和63年度は昭和62年度に実施した現地調査に基づき、中間報告書を作成し、現地説明を実施したほか、第2次現地調査を実施した。</p>	国立工業技術院(INTI)	財省エネルギーセンター
ネウケン州北部地熱開発計画	海4	<p>ネウケン州北部地域のローカルエネルギー源の確立のため、コバウエ地区に調査井を掘削し、地熱資源を評価し、開発計画を策定する。</p> <p>昭和63年度は、調査井を約890mまで掘削した。</p>	国家エネルギー庁 ネウケン州	電源開発(株)



||||| 保健医療分野 |||||

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
医療用機材(繰越分)	一式	49,900	国立ポリリーノ・ウダオンド病院	一般単独機材	研修員受入

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 (事業別・期間)	各種チームの派遣		専門家派遣			機材供与 (除携行機材)		カウンターパート 受入	
	年度	形態	62年度 まで 累計	63年度		年度	金額 (千円)	年度	人数
				継続	新規				
サンロケ病院消化器病診断・ 研究センター (消化器病診断治療技術の向上) 〔保健医療協力事業〕 (当初 R/D 協力期間) 60.4.1～2.3.31	59	事前調査							
	59	実施協議							
			11	0	9	60	78,113	60～62	9
						61	54,771	63	2
					62	29,000			
					63	55,790			

コルドバ州立サンロケ病院の消化器内科を消化器内視鏡を主とする消化器病診断・研究センターとして分離独立させ、センターの医療施設整備や専門医への消化器病診断・治療技術の移転を通じ、消化器疾患の早期発見・的確な診断、治療技術の向上を図る。あわせて、同病院のレジデント、国立コルドバ大学医学部の学生や周辺州の医師に対する教育及び再訓練の場としての役割を果たすことを目指している。本プロジェクトの開始と同時にアルゼンティン側は独自予算でサンロケ病院の増改築を行い、消化器病専門の診断・研究部門を独立させて「消化器病診断・研究センター」として昭和61年9月24日に開所式を行った。機材供与事業を通じての内視鏡、超音波診断装置、X線診断装置等の医療機材の整備、専門家派遣、研修員受入も順調に展開しており、技術移転は当初計画に沿って進んでいる。

研修員受入実績



分野	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産		鉱業	工業	商業・貿易	観光					人的資源
年度																					
27～63年度	3				1				1					1							11,125
63年度	1													1							2,063
	1													1							

(注) 63年度人数欄の上段は新規分, 中段は継続分, 下段は新規分と継続分の合計。



調査団派遣実績

分野	合計人数	計画・行政				公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー		商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業	エネルギー	商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化	保健医療	社会福祉	その他				
27~63年度																								1,951	
63年度																									



研修員受入実績

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業		農林・水産			鉱工業		エネルギー		商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運輸交 通	社会基 盤	通信・放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工業	エ ネ ル ギ ー	商 業・ 貿 易	観 光				
27~63年度	5		1							1							2			13,369
63年度	1		1																	4,400
	1								1											
	2		1						1											

(注) 63年度人数欄の上段は新規分、中段は継続分、下段は新規分と継続分の合計。

調査団派遣実績

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業		農林・水産			鉱工業		エネルギー		商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益 事業	運輸交 通	社会基 盤	通信・放 送	農 業	畜 産	林 業	水 産	鉱 業	工業	エ ネ ル ギ ー	商 業・ 貿 易	観 光				
27~63年度																				3,760
63年度																				

ボリヴィア

分野 年度	合計		計画・行政				公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー		商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
	人数	計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業	エネルギー	商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化								
27~63年度	656	13	33	2	62	41	104	61	18	3	11	86	12	23	12	1	22	4	139	5	4	1,554,738				
63年度	61	1	2	2	3	5	5	11	5	1	2	6					4	1	13							
	20		2				6	1			2	2			1		2	1	3			203,430				
	81	1	4	2	3	5	17	6	1	2	8	2			1		6	2	16							

(注) 63年度人数欄の上段は新規分、中段は継続分、下段は新規分と継続分の合計。以下同じ。

専門家派遣実績

分野 年度	合計		計画・行政				公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー		商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
	人数	計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業	エネルギー	商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化								
27年度	93						2	2	1		6	20					1	2	57		2					
63年度	89				10	1	4	17	17			2	19				6	3	10							
	117				9	2	8	3			6	29	4	1			11		42		2					
	299				19	3	14	22	18		14	68	4	1			18	5	109		4				3,841,464	
63年度	16							2			6								8							
	3											3														
	19							2			6	3							8							
63年度	13				1		5	5									1		1							
	19				3	1	4	5	1	1							1		4							
	32				4	1	9	10	1	1							2		5						415,500	
63年度	29				1		7	5		6							1		9							
	22				3	1	4	5	1	1	3						1		4							
	51				4	1	11	10	7	3							2		13							



調査団派遣実績

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		開発 計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産		鉱業	工業	商業・貿易	観光				
27~63年度	826			9	255	114	29	44	18	6	10	19	29				84		3	4,724,271
63年度	48			3	21			5	4		11						4			276,880
	6			6																
	54			9	21			5	4		11						4			

青年海外協力隊派遣実績

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
		開発 計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産		鉱業	工業	商業・貿易	観光					人的資源
27~63年度	129	1	3				3	14	4	2	5	18				10	7	49		13	938,136
63年度	18		1				2					6				1	2	6			
	48		2				1	8	2	1	2	9				4	3	16			225,815
	66		3				3	8	2	1	2	15				5	5	22			

移住者送出実績

分野 年度	合計 人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産			鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
		開発 計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産		鉱業	工業	商業・貿易	観光					人的資源
27~63年度	1,917							17	1			4		1		13		4		1,877	106,555
63年度	4											1				2		1			
	4											1				2		1			30,673

||||| 公共・公益事業分野 |||||

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供 与 形 態	関 連 事 業
電気通信訓練用機材 (当年度分)	一式	12,070	電気通信学園	一般単独機材	専門家派遣 青年海外協力隊 研修員受入

開発調査事業

プロジェクト名	予調査 内容 区分 分類	概 要	相手国の調 査団受入先	調 査 業 務 受注企業名
サンタバルバラ・ ベジャビスタ道路 改良計画	開 7	ボリヴィアの国道3号線のサンタバルバラ・ベジャビスタ間の道路改良計画のフィージビリティ調査及び実施設計レベルに相当する調査を実施するもので、昭和63年度は事前調査を実施し、実施細則を締結した。	道路公団	
サンボルハ・トリ ニダ間道路改良計 画 (II)	開 7	サンボルハ・トリニダ間 (全長約230km) の道路改良計画にかかる経済分析を含む詳細な実施設計レベルに相当する調査を実施するもので、昭和63年度は昭和62年度に引き続き、本格調査を実施し、最終報告書を提出した。	道路公団	セントラルコ ンサルタント (株) 国際航業(株)

中
南
米

無償資金協力事業

無償資金協力案件 (JICA 担当分)

プロジェクト名	金 額 (億円)	E/N 署 名 日	JICA 実 施 業 務		
			基本設計	実施促進	仕 様 書
エルアルト市地下水開発計画	16.93	63.10.19	○%		
コチャバンバ州村道整備計画	12.54	63.10.19	○		

基本設計調査

プロジェクト名	概 要	相 手 国 実 施 機 関	調 査 業 務 受注企業名
エルアルト市地下水開発 計画	エルアルト市における水需要の増大に対応するために策定された、地下水を原水とする給水施設を建設する。	ラパス市上下 水道公社	(株)協和コンサ ルトンツ

実施促進・フォローアップ調査

プロジェクト名	調査区分	供与年度
道路網整備計画	契約促進	62

農林水産分野

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 (事業別・期間)	各種チームの派遣		専門家派遣			機材供与 (除携行機材)		カウンターパート 受入	
	年度	形態	62年 度まで 累計	63年度		年度	金額 (千円)	年度	人数
				継続	新規				
家畜繁殖改善計画 〔農林水産業協力事業〕 (当初 R/D 協力期間) 62.9.10～4.9.9	61	事前調査							
	62	実施協議				62	10,265	62	2
	62	実施設計	2	2	6	63	45,505	63	3
	63	計画打合せ							

家畜の人工授精技術及びそれに関連する家畜衛生、及び家畜飼養等の技術の移転を図り、ポリヴィアの牧畜業の発展に寄与することを目的として、家畜繁殖、家畜衛生、家畜飼養、家畜育種の分野において次の協力を実施している。①人工授精技術の確立と試験的受精卵移植の実施、②人工授精師の研修、③繁殖疾病にかかる実態調査及び診断、予防技術の確立、④家畜飼養技術の改善、⑤現行飼育品種の調査及び育種のためのプログラム作成。昭和63年度においては、各部門とも牧場の実態調査、情報の収集を中心に業務が行われ、プロジェクト実施のための諸準備と体制の整備をした。また、これら整備の一環としてモデルインフラ整備費により家畜人工授精棟、家畜衛生検査棟、種雄牛舎棟の整備を実施した。また、昭和63年11月には、計画打合せ調査団を派遣し、5カ年実施計画等につき、ポリヴィア側と協議し、合意をみた。

開発調査事業

プロジェクト名	予調査 内容 区分 分類	概要	相手国の調査 団受入先	調査業務 受注企業名
サンタアナ農業・ 農村開発計画	開 3	タリハ州サンタアナ地区においてかんがい、農地造成を主体に農村電化、飲雑用水確保等を含めた農村開発計画の策定にかかるフィージビリティ調査を実施するものであり、昭和63年度は事前調査団を派遣し、実施細則の締結を行った。	企画調整省 タリハ州開発 公社	

無償資金協力事業

無償資金協力案件 (JICA 担当分)

プロジェクト名	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA 実施業務		
			基本設計	実施促進	仕様書
食糧増産援助	7.00	63.12.16	○	○	

実施促進・フォローアップ調査

プロジェクト名	調査区分	供与年度
食糧増産援助	契約促進	62・63

||||| 鉱工業分野 |||||

開発調査事業

プロジェクト名	予調査内容区分分類	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
リベス地域資源開発調査	資 8	リベス地域において銀・鉛・亜鉛鉱脈型鉱床の賦存状況を把握することを目的とする。 昭和63年度は、ボーリング調査（3孔、700m）、坑道調査（240m）を実施した。	鉱山公社	

||||| 保健医療分野 |||||

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 (事業別・期間)	各種チームの派遣		専門家派遣		機材供与 (除携行機材)		カウンターパート 受入		
	年度	形態	62年度 まで 累計	63年度 継続 新規		年度	金額 (千円)	年度	人数
サンタクルス総合病院 (第1次医療の整備と第3次 医療の技術移転) 〔保健医療協力事業〕 (当初 R/D 協力期間) 62.12.1～4.11.30	60	予備調査							
	62	事前調査							
	62	実施協議							
	63	機材修理	4	4	8	63	23,358	62 63	2 3
	63	計画打合せ							

国立総合病院として100年余りの歴史を持つサンタクルス市のサンファン・デ・ディオース病院は、建物や医療機材面での老朽化が目立ち、医療レベルの低下も著しく、近年の人口増加に応えきれない状況にあり、かつポリヴィア政府はプライマリー・ヘルス・ケアの普及、医療施設の地方分散化に取り組んでいたことから、わが国に総合病院建設の無償資金協力を要請し、同病院完成が目前となった昭和60年5月に、病院管理、内科、外科、小児科、婦人科、放射線診断、臨床検査、病理学、医療機器管理分野に対するプロジェクト方式技術協力の要請をしてきた。昭和62年度に事前・実施協議の両調査を実施し、内科、外科、小児科、病院管理、看護、病理学の各分野について技術協力を行うこととし、まず第1次医療の整備を行い、最終的には第3次医療が可能な病院の確立を図ることとしている。



無償資金協力事業
実施促進・フォローアップ調査

プロジェクト名	調査区分	供与年度
サンタクルス総合病院計画	状況調査	58～60
トリニダッド母子病院建設計画	フォローアップ調査	56・57